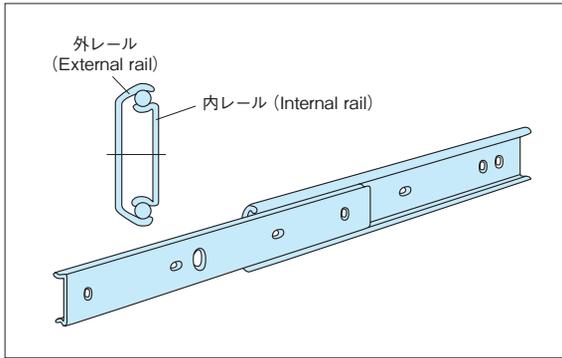


スライドレールについて

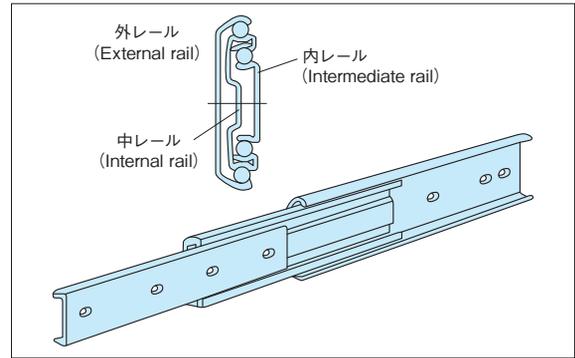
構造

図 - 1



◦ スライドレールの基本的構造は、外レールと内レールの間にリテーナで保持された数個のスチールボールを装入し、そのスチールボールの回転によって、定められたトラベルの直線往復運動を極めて軽く、かつ正確に行えるようにした理想的なメカニズムです。図-1の場合は一組の外レールと内レールの相対的動きによって一段に引き出せる構造になっておりますので、シングルスライドと呼称します。

図 - 2

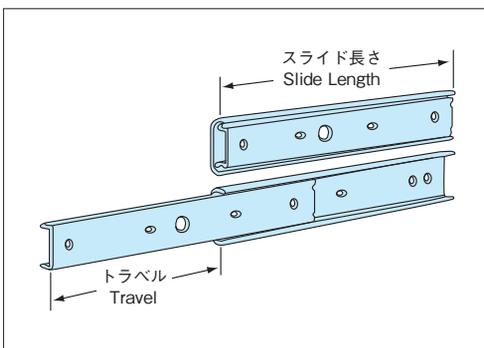


◦ 図-2は外レールと内レールの間に中レールがあり、外レールと中レール間及び中レールと内レール間に、各々リテーナで保持された数個のスチールボールが装入されていますので二段階に引き出すことができます。このようなスライドをダブルスライドと云います。

特徴

- スムーズな作動
スチールボールのころがり接触による作動であるため、極めて軽く、また、正確な往復運動を長く維持することができます。
- 潤滑性
当社のスライドレールは組立作業中グリスアップの工程を含めておりますので、通常の使用には給油の必要性は全くありません。
- 耐熱性
標準仕様の場合、0℃～50℃の範囲内ならば、なんら問題なくご使用いただくことができます。この範囲を超える場合には、改めてご相談ください。
- 防塵性
ボールリテーナはスチールボールを正確に保持すると同時に、ボールの接触面をほこりから保護する役割も果たしています。したがって通常の使用条件では、まず問題ありませんが、できるだけほこりのない清浄な雰囲気を使用することをお勧めします。

スライド長さとはトラベルについて



- スライドの長さとは、完全に閉じた時のスライドの長さです。
- スライドの移動距離(トラベル)とは、最大にスライドをのびた時のスライドの全長から、上記のスライドの長さを差し引いた長さです。

スライドレールの用語

- スライドレールの用語

3/4トラベル	スライド全長の3/4引き出せる。
アクセスホール	スライドをネジ止めする際に使用する工具穴。
ストップタイプ	スライドを全開した時に、引き抜くことのできないタイプ。全開状態で保持(ロック)されない。
ロックタイプ	スライドを全開した時に、全開した状態で保持される。ラッチやレバー等进行操作し解除して全開できる。
ドロワーメンバー	スライドを取りつけるときに、移動側となるメンバー。
キャビネットメンバー	スライドを取りつけるときに、固定側となるメンバー。
シーケンシャル機構	3メンバーのスライドで全開する時には、中間メンバー → ドロワーメンバー、全閉する時には、ドロワーメンバー → 中間メンバーと順序よく開閉する機構。(片側方面の移動時だけでも言える)

定格荷重

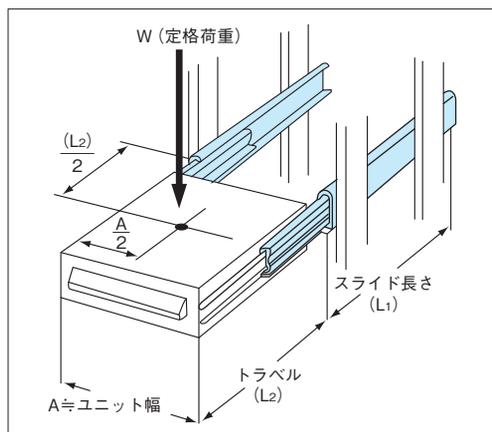


図-3

- 定格荷重とは、左右一対のスライドが、しっかりとキャビネットと引出し部の両方に固定され、しかもスライドは水平の状態ですべて引出しを一杯に引出したときの許容する最大荷重であらわします。すなわち、図-3のような場合には、 $(L_2)/2$ 、 $A/2$ の重心位置における W の値です。
- スライドレールの機能は使用状態により変化します。取付寸法、取付方法、荷重中心、使用頻度や設置場所等により、スライドレールの耐荷重性、耐振性、耐摩性、耐腐蝕性等、大きく異なります。ご検討の際には、ご相談ください。